

# STOP・ザ・格差社会！ すべての働く者を連合の輪へ 「安心社会」を切り拓こう！

## —連合山形第29回年次大会—

連合山形第29回年次大会が、11月10日山形市の大手門パルズで行われ、県知事選と次期衆院選の取り組みを含めた2017年度の活動補強方針や、予算、補充役員などを確認しました。

開会に先立ち、岡田会長が「この1年間の総括から向こう1年間の課題について補強すべく大会である」とし、組織拡大の課題をはじめとした、特に強調したい課題5点について述べました。また、来年1月予定の県知事選挙にふれ、吉村知事再選の取り組みを訴えるとともに、衆院選についても「いつ解散があってもおかしくない。常在戦場で取り組みたい。」としました。

大会には、吉村美栄子知事も出席され、リーマンショック後の当選1期目から、雇用に力を入れてきたことや今後「やまがた創生総合戦略」に基づき、共に地域の活性化をはかっていきたいなどと述べられました。また、知事選への推薦決定への謝辞と、今後とも引き続きの支援をお願いされました。

また、大会では、今年度新規に加盟された組合の紹介がされ、カルソニックカンセイ労働組合（自動車総連）の伊藤和幸執行委員長、山形三菱自動車労働組合（自動車総連）の遠藤新副委員長、おーばん労働組合（U Aゼンセン）とうめや労働組合（U Aゼンセン）の代理として角谷俊一U Aゼンセン山形県支部長に組合旗作成の助成金が岡田会長より渡されました。

補強方針では、「『1000万連合』に向けた組織拡大・組織強化の着実な前進と連帯活動の推進による、社会的影響力ある労働運動の強化」など、6項目についての活動方針について補強されました。

経過報告と運動方針について5名の代議員から質問、補強意見があり、質疑を経て全会一致で承認。「山形県知事選挙必勝決議」を全体で確認し、最後に「働くことを軸とする安心社会を切り拓こう！」と大会宣言を採択し、「團結がんばろう」を三唱して閉会しました。



左から、議長団の奥山代議員（電力総連）、田中代議員（高教組）



左から、新規加盟組合の伊藤執行委員長、遠藤副執行委員長、角谷支部長



## 2017連合山形新春旗開き

とき：2017年1月4日(水)15時30分～ ところ：大手門パルズ

## 会場からの発言



### 自治労 佐藤代議員

- ・議会請願でなかなか進展していない項目がある。連合の請願だからと入口の段階で進まない議会があると聞いている。うまく進めるようにしてほしい。
- ・過労自殺の原因は、働かされ過ぎの状況を許していることであり、そのようなパワハラを防ぐ先進的取り組み事例を紹介しながら活動の補強にほしい。



### 高教組 佐藤代議員

- ・奨学金問題について。事務手続きを先生がになっており、多忙を極めている。また、給付型奨学金の財源を特定扶養控除を縮小しようとしており、そうなる则これまで控除を受けていた家庭の税負担が増えることになる。このような課題を改善されるよう運動を進めてほしい。



### 県教組 鹿間代議員

- ・教育フォーラムのお知らせについて。12月10日に「子どもの貧困と教育格差を考える」と題して行く。皆様のご協力、各単組の周知をお願いしたい。



### 鶴岡田川地協 工藤特別代議員

- ・賃金の格差が拡大し、また昨年春闘結果でも要求からは離れている。2017春闘を強化し、地域に根差した賃金の引き上げになるよう押し上げてほしい。
- ・最賃のDランクから山形県が抜けしていく運動の取り組みをお願いしたい。引き続き、地協もその運動に参加していきたい。



### 自治労 渡部代議員

- ・参院選の総括論議をもっと深めてほしい。初めての野党統一候補として闘ったことを連合山形としてどう評価するのか議論を深めてほしい。
- ・最賃闘争は、非正規・未組織の組織化の課題、賃金闘争としてすべての産別に関係する課題である。最賃審議会の内容について、抵抗している人の名前を公表すべきである。また、審議会に時給で働いている人を審議会委員にすべきでないか。
- ・労働局主催の過労死に関するシンポジウムが開催されるようだが、社会問題に敏感に反応し、多くの労働組合が参加することが大事だ。



### 自治労 渡部代議員

- ・吉村知事を推薦していただいたことに感謝する。県職連合内部においても議論し、知事とも直接対話をし、推薦を組織決定した。吉村知事は、連合山形の政策提言に対してもしっかりと向き合っている人だと考えているので、皆様の絶大な支援をお願いしたい。

## 2016ユニオンリーダー養成講座を開催

2006年度から開催してきた「活動家養成講座」の名称を、昨年度から「ユニオンリーダー養成講座」に改めて開催。これまで同様、連合山形と連合山形シンクタンクの（一社）山形県経済社会研究所との共催ですが、今年度は、内容を一部改め、労働組合活動における基礎から実践につながるようなグループワークを中心とした講義内容となりました。

今回は24名の方が受講され、労働組合の意義や職場集会の持ち方など、基礎から実践に向けた講義、グループ討議に真剣に取り組まれていました。感想として「職場集会やオルグ、執行委員会等で活かしていきたい」「職場討議をグループ実践できて有意義だった」などの感想が寄せられ、好評でした。

### 【受講者（敬称略）】

【U Aゼンセン】後藤健一郎、古内孝太郎、長谷部泰晴、【情報労連】柏倉健男、菅井智行、菅原弘光、【J A M】鈴木信幸、高橋一真、石井博三、【電力総連】嵯峨涼平、坂本靖之、【交通労連】佐藤浩二、岡田洋輔、桃園宏和、高橋末雄、【運輸労連】遠藤葵、【自治労】岡本篤、【高教組】小野博明、【森林労連】丸山智由、【県教組】金子良、佐藤敏幸、【J P 労組】佐藤芳典、渡部仁、【連合山形地協】三浦忠志（国公総連）



| 講座日      | 時間          | 講義内容  |
|----------|-------------|---|
| 10月1日（土） | 10:30～10:40 | 開校式   |
|          | 10:40～12:00 | 「働くということー現代の労働組合を考える」<br>日本女子大学名誉教授<br>高木郁朗             |
|          | 13:00～16:00 | 「労働組合の意義と機能・職場でのコミュニケーション」<br>J.ユニオン(株)第一促進部<br>部長 松山晃久 |
|          | 16:10～16:30 | 修了式   |
|          | 16:30～18:30 | 懇親会   |

## 青年委員会第27回定期総会



連合山形青年委員会は、10月27日、大手門パルズで第27回定期総会を開催し、2017年度の活動方針と役員体制を決定しました。加藤委員長(UAゼンセン)

が再任され、活動方針に基づき、連合運動の前進と青年独自の活動について、学習と交流を深めていくことを確認しました。

### 《2017年度役員体制》

| 役職名   | 氏名    | 構成組織名  | 区分 |
|-------|-------|--------|----|
| 委員長   | 加藤 理  | UAゼンセン | 再任 |
| 副委員長  | 本間 光祐 | 自治労    | 再任 |
| 副委員長  | 岡田 洋輔 | 交通労連   | 再任 |
| 副委員長  | 三澤 純祐 | 電力総連   | 新任 |
| 副委員長  | 宮内 智臣 | J R総連  | 新任 |
| 事務局長  | 斉藤 利範 | 情報労連   | 新任 |
| 事務局次長 | 高橋 一真 | J A M  | 新任 |
| 幹事    | 渡部 拓郎 | 電機連合   | 再任 |
| 幹事    | 本間 智也 | J P 労組 | 新任 |
| 幹事    | 伊藤 達郎 | 全労金    | 新任 |
| 幹事    | 中川 恭平 | 森林労連   | 新任 |
| 幹事    | 金子 良  | 県教組    | 新任 |

## 女性委員会第28回定期総会



連合山形女性委員会は、10月27日、大手門パルズで「第28回定期総会」を開催し、一年間活動してきた総括と2017年度の活動方針を決定しました。新委員長に藤本恵美子さん(UAゼンセン)が就き、新役員体制を確立。連合の進路と役割のもとに政策制度の要請と男女平等の社会づくりを進めることを確認しました。

### 《2017年度役員体制》

| 役職名   | 氏名      | 構成組織名  | 区分 |
|-------|---------|--------|----|
| 委員長   | 藤本 恵美子  | UAゼンセン | 新任 |
| 副委員長  | 木口 久仁子  | J P 労組 | 再任 |
| 副委員長  | 秋葉 奈緒子  | 交通労連   | 再任 |
| 副委員長  | 大竹 恵里   | 高教組    | 新任 |
| 副委員長  | 藤田 美智子  | 電機連合   | 新任 |
| 副委員長  | 金谷 由美子  | J A M  | 新任 |
| 事務局長  | 長谷川 千恵  | 電力総連   | 新任 |
| 事務局次長 | 川越 集    | 情報労連   | 新任 |
| 事務局次長 | 佐々木 美喜子 | 県教組    | 新任 |
| 事務局次長 | 佐々木 久美子 | 自治労    | 新任 |

## 山形県高退連第24回定期総会



10月28日、大手門パルズにおいて、山形県高齢・退職者連合「第24回定期総会」が開催され、2016年度活動報告、2017年度活動計画を確認し、「安心・信頼の社会保障の確立で生き生きと安心して暮らせる社会をつくらう！」をスローガンに、連合山形に結集する現役の組合員とともに、地域社会において信頼される組織として成長し、運動を進めることを確認しました。

### 《2017年度役員体制》

| 役職名   | 氏名     | 所属      | 備考 | 役職名  | 氏名     | 所属            | 備考 |
|-------|--------|---------|----|------|--------|---------------|----|
| 会長    | 伊藤 寛   | 山退教協    | 再任 | 幹事   | 上野 力   | UAゼンセン山形ニア友の会 | 再任 |
| 副会長   | 菅野 節子  | 出羽路会    | 再任 | 幹事   | 小山 宗利  | 山形交通OB会       | 再任 |
| 副会長   | 江口 一男  | J P 労組退 | 再任 | 幹事   | 細谷 正實  | 第一貨物退         | 再任 |
| 副会長   | 小野寺 孝二 | 県職員退    | 再任 | 幹事   | 高橋 宗一  | 全日通退          | 再任 |
| 事務局長  | 鈴木 文夫  | 山形市職労退  | 再任 | 幹事   | 田村 義美  | 東北電力OB会       | 新任 |
| 事務局次長 | 山川 長生  | ろうきん退山形 | 新任 | 幹事   | 志鎌 一夫  | J R総連OB会      | 再任 |
| 事務局次長 | 柏木 実   | 連合山形    | 再任 | 幹事   | 石山 豊   | 最上地区高退連       | 再任 |
| 幹事    | 斎藤 裕治  | N T T 退 | 再任 | 幹事   | 渡部 啓一  | 酒田飽海地区高退連     | 再任 |
| 幹事    | 斎藤 荘一  | 庄内交通寿会  | 再任 | 幹事   | 佐々木 敏安 | 西村山地区高退連      | 再任 |
| 幹事    | 太田 良一  | 山退教協    | 再任 | 幹事   | 須藤 和幸  | 北村山地区高退連      | 再任 |
| 幹事    | 梅津 一春  | 山高退協    | 再任 | 幹事   | 小泉 信三  | 田川地区高退連       | 再任 |
| 幹事    | 三浦 武   | 秋田山形林退会 | 再任 | 会計監査 | 秋葉 聖史  | 県職員退          | 再任 |
| 幹事    | 楨 政義   | 農水省退    | 再任 | 会計監査 | 森谷 昭江  | 出羽路会          | 再任 |
| 幹事    | 佐藤 昭宏  | 上市市職労退  | 再任 |      |        |               |    |

# 2016年度 連合山形「山形大学寄付講座」開講

今年度で5年目となる、2016年度「山形大学寄付講座」が10月6日より開講されました。この寄付講座は、学生が労働現場の現状と働くうえでの課題を具体的に理解し、その課題解決に向けて考える姿勢を培うため、連合山形と山形大学との連携により、「労働と生活」をテーマとして開設するもので、岡田会長をはじめに第2回講座より、第14回講座まで、連合山形・労働福祉団体等より講師を派遣し講義を行います。

100名を超える学生が受講され、受講後、「ブラック企業がはびこる今、連合山形の存在は重要だ」「これからの就活で注意していきたい」などの感想が寄せられています。

各講師の講義内容は、連合山形ホームページ「連合山形寄付講座」に掲載されます。

## ■山形大学 連合山形寄付講座・講義のプログラム 「労働と生活」

2016年後期

| 回数   | 月日            | テーマ                     | 要点   | 講義の概要  | 担当  | 所属・役職 |
|------|---------------|-------------------------|--|--|---|-------|
| 第1回  | 10月6日<br>(木)  | 労働組合とは何か                | オリエンテーション  | 本講義を受講するにあたり、必要と思われる労働組合や労働者福祉運動に関する基礎的な知識を解説する。(ナショナルセンター、産別、単組、春闘、ストライキ、労金、全労済、協同組合など) | 戸室 健作   | 山形大学  |
| 第2回  | 10月13日<br>(木) | 労働組合の今日的役割              | 連合山形が何故「寄付講座」を開講することになったのか、その趣旨について説明しながら、労働組合の今日的な役割について、総合的に学んで欲しいことを話していただく。                          | 岡田 新一  | 連合山形 会長   |       |
| 第3回  | 10月20日<br>(木) | 働く現場で何が起きているのか          | 今、働く現場で何が起きているのか。連合山形に寄せられる労働相談から見えてくるもの。職場の現状や労働相談に対する具体的な対応策などについて、具体例をあげながら労働組合の意義や役割について話していただく。     | 柏木 実   | 連合山形 組織広報部長                                     |       |
| 第4回  | 10月27日<br>(木) | 賃金と処遇の改善                | 労働生活にとって賃金制度や賃金水準は重要な問題である。労働組合は、これらについてどのように考えており、賃金の維持・向上にどのように取り組んでいるのかを、春闘、最低賃金制度に対する取り組みも併せて説明いただく。 | 丹野 忍   | 連合山形 副会長<br>情報労連山形県協議会議長                        |       |
| 第5回  | 11月10日<br>(木) | 公務労働者の現状                | 労働基本権が制約されている中の公務労働者の組合活動はどのように行われているのか。公務職場の現状と諸課題への対応について解説していただく。                                     | 阿部 智紀  | 県教組 書記長   |       |
| 第6回  | 11月24日<br>(木) | 職場の中の青年運動               | 近年卒業後3年以内の離職率が高校が4割、大学が3割と言われる中で、青年たちはどのような問題意識を持って働いているのか、学生の質問に答える形で話していただく。                           | 本間 光祐<br>齋藤 利純   | 連合山形 青年委員会                                      |       |
| 第7回  | 12月1日<br>(木)  | 雇用、非正規労働者の処遇改善          | 組織率低迷の要因をどのように捉えているのか、また、その克服のため具体的に何をめざしているのか、実践的な事例に基づいて紹介していただく。(非正規労働者の拡大と、組織化の課題を含む)                | 井上 雄吾  | 連合山形副会長<br>電機連合山形地方協議会議長                        |       |
| 第8回  | 12月8日<br>(木)  | 労働時間、ワークルールの確立          | 雇用と生活を守るための適正な労働時間の執行を目指し、特徴的な取り組みをしている職場の事例、労働組合の考え方を伝えていただく。   | 伊藤 幹男  | 連合山形 副会長<br>電力総連山形県本部会長                         |       |
| 第9回  | 12月15日<br>(木) | 雇用・政策実現の取り組み            | 労働組合の雇用をはじめとした政策実現活動が具体的にどのように行われているのかを説明していただく。   | 金子 浩   | 連合山形 副会長<br>JAM南東北 県連協会会長                       |       |
| 第10回 | 12月22日<br>(木) | 協同組合の意義、労働者自主福祉運動の現状と課題 | 地域における労働者自主福祉運動として、誰が何をやっているのか、とくに、協同組合の歴史と考え方、その意義と役割など紹介していただく。福祉事業団体の事業・活動についても触れていただく。               | 鈴木 正弘  | (一社)山形県労協                                       |       |
| 第11回 | 1月12日<br>(木)  | 労働・共済運動、たすけあいの現状と課題     | 労働者自主福祉事業団体の現状と課題を中心に説明し、それぞれの誕生の歴史や理念とするもの、地域との関わりや安心・共生の社会づくりについて提起していただく。                             | 大泉 敬男<br>熊澤 年啓   | (一社)山形県労協<br>労働金庫山形県本部<br>(一社)山形県労協<br>全労済山形県本部 |       |
| 第12回 | 1月19日<br>(木)  | 生協・農協運動、協同組合の現状と課題      | 協同組合の運動の現状と課題を中心に説明し、それぞれの誕生の歴史や理念とするもの、地域との関わりや安心・共生の社会づくりについて提起していただく。                                 | 安部 芳晴<br>浅井 康之   | 山形県生活協同組合連合会<br>常務理事<br>山形県農業協同組合中央会<br>教育部長    |       |
| 第13回 | 1月26日<br>(木)  | 男女平等社会とワークライフバランス       | 男女とも仕事と生活の調和の実現を目指すために労働組合はどのように取り組んでいるのか(仕事と育児、介護の両立支援、男女均等待遇を重点に)現状と課題を話していただく。                        | 大竹 恵里  | 連合山形 女性委員会                                      |       |
| 第14回 | 2月2日<br>(木)   | 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて    | ゲストスピーカーから、連合が目指す社会「働くことを軸とする安心社会」の実現の取り組みについて提起していただく。ナショナルセンターがめざす社会像とその実現に向けた労働組合の役割と課題について話していただく。   | 山本 和代  | 連合本部 副事務局長                                      |       |
| 第15回 | 2月9日<br>(木)   | まとめ                     |  |  | 戸室 健作   | 山形大学  |

## 給付型奨学金制度を求めて街頭宣伝



連合山形は、11月8日、14日と山形市アズ七日町前にて労福協加盟団体の皆さんとともに、給付型奨学金制度を求める街宣行動を行いました。いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負い、不安定な雇用のため「返したくても返せない」など、大きな社会問題になっています。

岡田連合山形会長をはじめ、細谷山形地協議長や山形市議会議員の皆様らが、給付型奨学金制度の創設や貸与型奨学金を無利子奨学金へ拡充することなどを訴えました。今後も街頭宣伝や署名活動などを行い、未来を担う若者を社会全体で支える社会づくりへと取り組んでいきます。

# 「月刊連合」に連合山形地協が紹介されました！

月刊連合10月号に連合山形山形地域協議会が紹介されました。「ちきょう自慢」という各地方連合会の地域協議会を紹介するコーナーで、1年間のシリーズコーナーでした。この企画最後の地協が山形地協ということで、地協の活動だけでなく山形の名物や蔵王温泉の紹介まであります。みなさん、月刊連合を購読しよう！

## 「働く」人の今を考える、月刊『連合』

働く人の視点から、いま社会で起きていることや、連合が力を入れている運動などをわかりやすく解説します。時代に即した特集や多彩なテーマの連載など、内容も充実。全ページ・カラーで見やすく、労働組合役員はもちろん、働くことや社会問題に関心のある方に、ぜひ、お読みいただきたい情報誌です。

※毎月25日発行（年10回）、年間購読料 3,600円（送料込・税込）

お申し込みはHPから



## 「労福協結成40周年記念の集い」華やかに開催



講演する高木郁朗名誉教授



10月26日、大手門パルズにおいて、「山形県労働者福祉協議会結成40周年 記念の集い」が開催され、関係団体から約100名が出席しお祝いました。山形県労福協の岡田理事長は、「山形県労福協は、1976年3月に結成され40年の歴史を歩んできた。『共助と連帯』の運動は重要となっており、労福協運動の前進に向けて取り組もう」と挨拶されました。

「記念の集い」に先立って、高木郁朗日本女子大学名誉教授による記念講演が開催され、「労働者自主福祉運動が日本を救う～労働福祉運動の新しい役割～」と題して講演されました。

# ウィンターキャンペーン2016お取組みのご要請

組合員の皆様への周知

予約活動の実施

各種ローン商品をお知らせできる機会の提供

東北ろうきん

2016

## ウィンターキャンペーン

### 震災復興の一役を!

〈株式会社八木澤商店の昆布醤油150ml〉

八木澤商店は文化4年(1807年)に創業し、東日本大震災により壊滅的被害を受けました。奇跡的に震災前の「もろみ」が見つかりその培養に成功したことでマスコミにも取り上げられた企業です。

詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。



★2016年12月5日(月) 米沢支店新店舗OPEN!

2016年11月1日現在



## 東北労働金庫山形県本部

☎ 0120-1919-62

(受付時間: 平日午前9時~午後5時)  
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

ZENROSAI NEWS



0616A022

カーライフを応援する、頼れる補償

### マイカー共済

自動車総合補償共済

## 頼れる補償をお望みの方も、安全運転が長い方も、マイカー共済です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

### 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

**全労済山形県本部** 〒990-0827 山形市城南町1-18-22  
(山形県勤労者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666 (代)



### 頼れる窓口

営業 9:00~17:00  
(土・日・祝日除く)

**中央支所**

〒990-0827 山形市城南町1-18-22  
TEL.023-646-4666

**新庄支所**

〒996-0084 新庄市大手町5-6  
TEL.0233-23-5995

**酒田支所**

〒998-0851 酒田市東大町2-6-8  
TEL.0234-23-3160

**鶴岡支所**

〒997-0033 鶴岡市泉町8-73  
TEL.0235-23-6100

**米沢支所**

〒992-0012 米沢市金池3-2-7  
TEL.0238-22-6065

**長井支所**

〒993-0006 長井市あら町5-36  
TEL.0238-83-6035